

第6学年A組 家庭科学習指導案

1 題材 「まかせてね！きょうのごはん」

2 指導観

○ 近年、日本では飽食の時代を迎えていると言われている。現代の食生活は、脂質の過剰摂取や野菜の摂取不足、朝食の欠食、生活のリズムの変化による不規則な食習慣など食事の簡便化、多様化が大きく進展している。このような食環境の中で多忙な生活を送る現代社会では、個人の食事に対する関心は非常に薄くなっていると言える。また、食に関する様々な情報が溢れ、購入する際の判断基準も曖昧になっている。

本題材では、自分の食生活を振り返り、食品の組み合わせ、家族の好み、安全、値段などを考えた家族が喜ぶおかずづくりをすることで、家族の一員として家庭生活をよりよくしていこうとする態度を養うことをねらいとしている。学習内容として、1食分の食事、食品を組み合わせるとの必要性、材料の選び方、おかずづくりの調理計画、調理実習がある。このような学習を通して、自分の食生活への関心を高めるとともに、自分や家族のために食事を作る際、食品の組み合わせ、家族の好み、安全、値段などを考えた材料を選択する力を育み、適切な意思決定力をもった消費者となるために家庭生活を工夫しようとする態度を育てる上からも意義深い。

○ 児童は5年生までに、卵や野菜を使って「ゆでる」「いためる」の簡単な調理を学習してきている。また、6年生の1学期に「見直そう！毎日の食事」では、我が国の伝統的な日常食である米飯とみそ汁を作る学習をしてきている。児童は調理に必要な材料を家庭から持ってきてはいるものの、大半の児童がその準備を親に任せており、自分自身で材料を選んで購入した経験は少なかった。

事前調査を行ったところ、1週間の買い物の回数は、「1～2日」（61％）が最も多かった。また「親といっしょに買い物をする」という児童が94％という結果が出ており、なかでも児童の76％は「毎回親といっしょに買い物をする」と回答した。そして、買い物をする際「最終的に決定するのは親」と児童の100％が回答している。これらのことから、買い物を日常的に行っている児童は6割以上いるものの主体的に自分の意思で決定して購入している児童はほとんどいないことが分かる。食品の買い物は、児童の97％が経験しており、買うときに重視していることとして「値段が安いこと」（90％）が多く、「チラシをみること」（43％）「表示やマークをみること」（46％）「コマーシャルでよく知っていること」（50％）は重視されているとは言い難い結果となった。このことから、児童が食品の買い物をする際に「安さ」が優先され、チラシや表示などの情報を活用することが少ないことが分かった。つまり児童は、多くの判断基準をもたずに食品を購入していることが伺える。

また、学校栄養職員と連携し、給食時間や学級活動の時間を通じて、健康や食に関する学習を積み重ねてきている。本題材においても学校栄養職員の食や給食に関する専門性を生かし連携することで、食品の組み合わせ方など基礎・基本を確実に身に付けることができる考える。

○ 指導にあたっては、実践的・体験的活動を取り入れた問題解決的な学習を仕組み、家庭生活に生かせるようにしていきたい。そこでまず、ここでは自分の食生活を振り返らせ、学校給食と比較し、自分の食生活の課題を見つけさせる。次に、家族にアンケートをとり、毎日食事を作る際に、家族がどんなことに気をつけて毎日の食事の献立を立てているのかを知らせる。また学校栄養職員から学校給食の献立作成の条件を聞き、おかずづくりの計画の立て方や食品の簡単な表示の見方を理解させる。そして家族のアンケートから日常よく使用される食品を3つ選び、自分に合った選び方について考えさせる。食品の組み合わせに重点をおき、おかずづくりをする上で同じ課題（おもにエネルギーのもとになる食品、おもに体をつくるのもとになる食品、おもに体の調子を整えるのもとになる食品）をもつ児童でグループを分けさせる。「家族が喜ぶおかずづくり」という共通の目的をもたせ、それぞれの家庭の工夫や情報収集したことを考え、おかずづくりの計画を立てさせる。さらに、おかずの調理実習を行う。このとき自分で材料を購入させ、買い物レポートを書かせる。調理実習では、食品の購入が適切であったかを振り返らせる。最後に、各家庭の実態に合わせて献立を計画し、家庭実践へとつなげ、ここでも買い物を体験させる。家族から評価を得ることで有用感を味わわせるようにする。家庭での実践後に、交流会を行い、これからの食生活について考えさせる。

3 目 標

- 食品の組み合わせに関心をもち、家族の一員として家族が喜ぶおかずをつくろうとしている。
- 1食分の食事について家族の好みを考えたり、食品を組み合わせたりして工夫しておかずづくりの計画を立てることができる。
- 調理に必要な用具や食器を準備し、調理法（ゆでる・いためる）、安全や衛生に気をつけて家族が喜ぶおかずの調理ができる。
- 栄養的にバランスがとれるよう、食品を組み合わせるときの必要性を理解している。

4 計 画（10時間）

- 第一次 自分の食生活を振り返り、学校給食の献立と比較して自分の食生活の課題を見つける ----- 1
- ・食生活の課題
 - ・食品を組み合わせるときの必要性
- 第二次 家族が喜ぶおかずづくりの計画をたてる ----- 5
- 1 1食分の食事について考える ----- (1)
 - ・家族へのアンケート結果
 - ・献立の基本的な立て方 - 2 食品の選び方を考える ----- (1) 本時
 - ・食品の選び方（値段、産地など） - 3 課題別グループに分かれ、おかずを決める ----- (2)
 - ・食品の組み合わせ（エネルギーのもとになる食品、体をつくるもとになる食品、体の調子を整えるもとになる食品）
 - ・材料の選び方 - 4 おかずづくりの計画を立てる ----- (1)
 - ・必要な材料と分量
 - ・調理法
 - ・材料の買い方（買い物レポート①）
- 第三次 家族が喜ぶおかずづくりの調理実習と調理実習の反省を行う ----- 2
- ・材料、調理法、試食、環境に配慮した後かたづけ
 - ・調理実習の振り返り
- 第四次 家族のためにおかずづくりをする ----- 2
- 1 調理実習の計画を立てる ----- (1)
 - ・家族に合わせた食品の選び方 - 2 家族に作るために買い物、調理を実践する ----- 課外
 - ・材料の買い方（買い物レポート②） - 3 家族が喜ぶおかずづくりの実践交流会をする ----- (1)
- 5 本時 平成19年 10月3日（水） 第5校時 計画第二次2/5 6年A組教室にて

(1) 本時の指導観

前時までに児童は、家族が喜ぶおかずづくりをする際に、家族のアンケートから「家族がおかずづくりをするときに大事にしていること」や学校栄養職員から学校給食の献立作成の条件を聞き、おかずづくりの計画の立て方や食品についての簡単な表示の見方を学習している。そこで本時では、家族へのアンケート結果から、家庭で日常使用されることが多い3つの食品の中から自分に合った材料を選ぶことができることをねらいとしている。まず、「買い物をするときの食品の選び方について考える」ことを本時のめあてとして確認させる。そして、前時までに家族がおかずづくりをするときに大切にしていることや学校給食の献立作成の条件もとに、食品を選ぶ際に大切にしたいことを確認する。次に、「食品シート」の中から値段、産地などの条件を見て家庭の実態に合った食品を選ぶ。選んだ食品は学習プリントに書き込ませる。さらに、値段、産地、安全など根拠をもって選んだ食品について班で交流し合い、自分と友だちの意思決定の根拠を比較させる。比較させることで自分の意思決定が納得のいくものであるかを考えさせる。最後に、今日の学習を振り返らせ、課題別グループに分かれておかずを決める活動とおかずづくりをするときの買い物（課外）に意欲をもたせる。

(2) 主眼

- 「食品シート」を使って、自分に合った食品を選ぶことができる。

(3) 準備

- ①学習プリント ②家族へのアンケート ③食品シート ④食品カード ⑥ホワイトボード

(4) 展開

学習活動・内容	資料・教具	留意点	形態	配時
1 前時を振り返り、本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">買い物をするときに、自分に合った食品を選ぼう</div>	①	○ おかずづくりをするときに家族が大切に行っていることや学校給食の献立作成の条件を前時までの学習プリントを使って授業を振り返らせる。	一斉	5
2 「食品シート」を使って食品を選ぶ。 ・値段 ・産地 ・安全など	①②③④	○ 本時では、家庭の実態に合った食品を選ぶことをめあてとして確認しながら、「家族へのアンケート」も一人一人持たせておく。 ○ 家庭で日常使用される事が多い食品を体内での主な働きによって分けた3つのグループから1つずつ「食品シート」の中に入れておく。 ○ 「食品シート」は、値段、産地などが分かるように工夫し、まとめておく。 ○ 食品の旬(季節のもの)については、これまでに学校栄養職員が毎月発行する「給食だより」などで目にする機会を多いので、必要な場合は補足説明をする。	個	15
3, 選んだ理由を明らかにし、班で交流する。 ・安価な食品 ・品質表示 ・福岡県産 ・農薬の有無	①⑤⑥	○ 選んだ食品を根拠をはっきりさせて交流させることで、自分が何を大切にしたいかを明確にさせる。また、友だちの考えを聞くことで選択の幅を広げさせるようにする。 ◇ 「食品シート」を使って、自分に合った食品を選ぶことができたか。(学習プリント分析)	班	20
4, 本時のまとめをし、次時の確認をする。 課題別グループ	①	○ 次時は自分の食生活での課題別グループ分かれて、1食分のおかずづくりを確認することを確認する。	一斉	5

資料-10 第6学年「まかせてね!きょうのごはん」全体計画と評価規準表(全10時間)

関心:関心・意欲・態度 創:創意工夫 技:生活の技能 知:知識・理解

段階	配時	学習活動・内容	評価規準 (評価方法)【要素】	具体的評価規準	
				十分満足できる (A)	おおむね満足できる(B)
気 付 く	1	1 自分の食生活を振り返り学校給食と比較しての課題を見つける。 ・食生活の課題 ・食品を組み合わせるとの必要性 ・学校給食	関:食べ物を組み合わせて1食分の食事を考えることに興味をもっている。 (様相観察) 知:栄養的なバランスを考えて食品を組み合わせる必要があることを理解する。 学習プリント分析)【情報】	・自分の食生活を振り返り、課題を見つけようとしている。	
				・栄養的なバランスを考えて、食品を組み合わせる必要があることを理解する。	・食品を組み合わせる必要があることを理解する。
見 通 す	2	2 1食分の食事について考える。 ・家族へのアンケート結果 ・献立の基本的なたて方	知:栄養的なバランスのとれた、1食分の食事計画のたて方を理解する。 (学習プリント分析)【安全、情報】	・基本的な献立のたて方が分かり、食品についての簡単な表示に気付くことができる。	・基本的な献立のたて方が分かる。
				・家族へのアンケートや学校給食の献立条件をもとに、値段、産地、安全などを考えて材料を選ぶことができる。	・献立の条件を考えながら材料を選ぶことができる。
	3	3 食品の選び方を考える。 ・値段 ・産地 ・安全など	技:「食品シート」を使って、自分に合った食品を選ぶことができる。 (学習プリント分析) 【安全、契約・取引、情報】	・インターネットや本など様々な方法でおかずに関する情報を集めることができる。	・おかずに関する情報を集めることができる。
				・3つの食品グループから食品を組み合わせ、1食分のおかずを考えている。	・食品を組み合わせ、1食分のおかずを考えている。
	4	4 課題別グループに分かれ、おかずを決める。 ・1食分の食品の組み合わせ ・材料の選び方	技:おかずを決めるために、情報を集めることができる。 (学習プリント分析) 創:食品の組み合わせ方を工夫して、1食分のおかずを考えている。 (学習プリント分析)【情報】	・おかずづくりに必要な材料と分量、調理の手順や調理時間などを考えた調理計画を工夫して立てている。	・調理の手順を考えた調理計画を立てている。
・調理に必要な材料の分量や手順を考えて、簡単な調理を計画どおりできる				・簡単な調理をすることができる。	
さ ぐ る ・ ま と め る	2	6 家族が喜ぶおかずづくりの調理実習と調理実習の反省を行う。 ・1食分の食事 ・材料、調理法(ゆでる、いためる)、試食、環境に配慮した後片付け ・調理実習の振り返り	技:材料を切って、ゆでたり、炒めたりして簡単な調理を行い、学習プリントにまとめることができる。 (様相観察、学習プリント分析) (買い物レポート①分析) 【安全、契約・取引、環境】	・調理に必要な材料の分量や手順を考えて、簡単な調理を計画どおりできる	・簡単な調理をすることができる。
				・家族に合わせて材料を選んだり、他の材料に変えたりして工夫しようとしている。	・家族に合わせて材料を選ぼうとしている。
生 か す	2	7 家族のためのおかずづくりの計画を立てる。 ・家族に合わせた材料選び	創:家族に合ったおかずづくりの計画を立てている。 学習プリント分析)【安全、情報、環境】	・家族に合わせて材料を選んだり、他の材料に変えたりして工夫しようとしている。	・家族に合わせて材料を選ぼうとしている。
				・今までの学習を生かして簡単な調理をしようとしている。	・自分に合った食品を選ぼうとしている。
				・材料の選び方など自分が工夫した点を明らかにして友だちに伝えようとしている。	
8	8 家族に作るために買い物、調理を実践する。(課外) ・材料の買い方 (買い物レポート②)	関:家族のために簡単な調理をしようとしている。 (買い物レポート②分析) 【安全、契約・取引、情報、環境】	・今までの学習を生かして簡単な調理をしようとしている。	・自分に合った食品を選ぼうとしている。	
			・材料の選び方など自分が工夫した点を明らかにして友だちに伝えようとしている。		
9	9 家族が喜ぶおかずづくりの実践交流会をする。	関:学習したことを生かして工夫したところを伝えようとしている。(学習プリント分析) 【安全、契約・取引、情報、環境】	・材料の選び方など自分が工夫した点を明らかにして友だちに伝えようとしている。		